

4 - 1 5 地殻活動総合観測線および伊豆半島における観測結果（暫定値） （1995年5月1日～10月31日）

Results from Monitoring Chains of Crustal Activities in Kinki District and from Observations at the Izu Peninsula (Tentative Values) (May-October, 1995)

京都大学防災研究所
Disaster Prevention Research Institute
Kyoto University

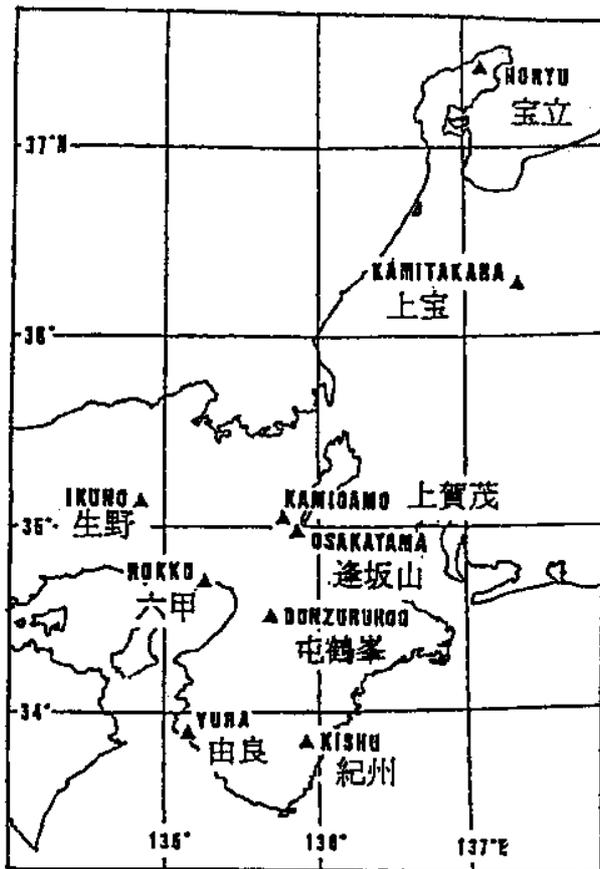
北陸近畿および近畿山陰両観測線のうちから、第1図に示す上宝、宝立、逢坂山、上賀茂、屯鶴峯、由良、生野、六甲鶴甲および紀州の9観測点における主な観測項目について、1995年5月1日から10月31日までの6ヶ月間の観測結果を示す。また、伊豆半島の河津と湯ヶ島で観測された同じ期間のひずみ変化を示す。

紀州には3台の水管傾斜計を設置しているが、第6図の紀州の水管傾斜計についてのベクトル表示は、 $N89^{\circ}E$ と $N129^{\circ}E$ 方向の2成分の結果から合成したものである。第2図から第8図までのそれぞれの時間変化のグラフは、成分毎に縦軸のスケールが異なること、傾斜のベクトル表示図もスケールが図によって異なっていることに注意されたい。また、水平な直線となっている部分は欠測を示している。

第2図の屯鶴峯におけるSE3 ($N40.5^{\circ}W$) は、昨年この期間に大きな伸びを示していたのに対し、ことはあまり大きく変化していない。この方向は年周変化が明瞭に現れるのが通常であり、今年は兵庫県南部地震の余効変動の影響もあって伸びの変化がそれほど大きくなかったと解釈することもできる。

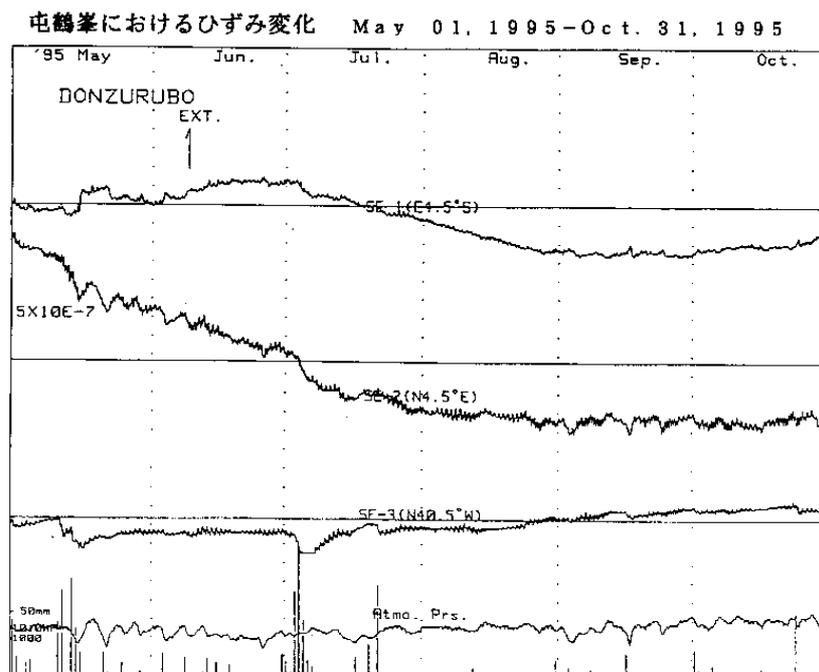
第3図の上宝EとECのひずみは、同一のひずみ計の端と中央部での記録である。したがって、ひずみが一様であれば同じになるはずであるが、E1とEC1を比較すると長期的なトレンドが逆向きとなっている。ひずみ計サイズの広がりでの局所的な差異であって広域の現象につながるものではないと推定される。なお、1994年の夏季は雨が少なかったが両者はほぼ平行したトレンドを示していた。

第5図に示されているように、六甲鶴甲のひずみ計は6月に入ってから再び記録再開が可能となった。7月には大きな降雨による変化がみられるが、余効変動は地震後の欠測のためここでは確認できない。



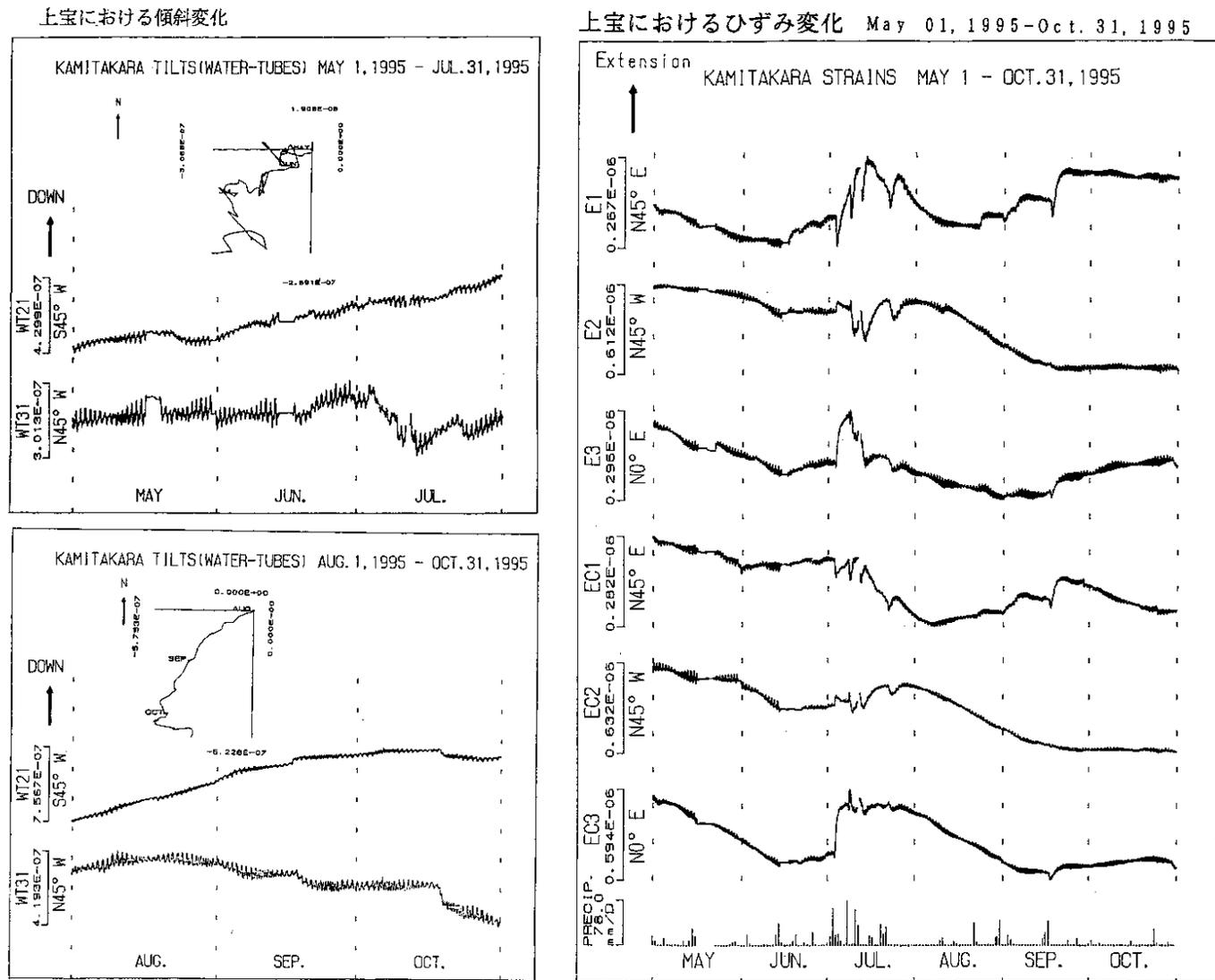
第1図 総合観測点の観測点位置図

Fig. 1 Observation stations consisting of the monitoring chains.



第2図 屯鶴峯におけるひずみ変化

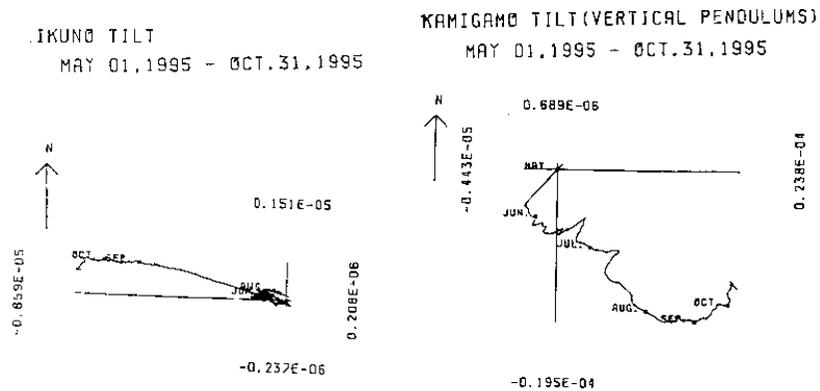
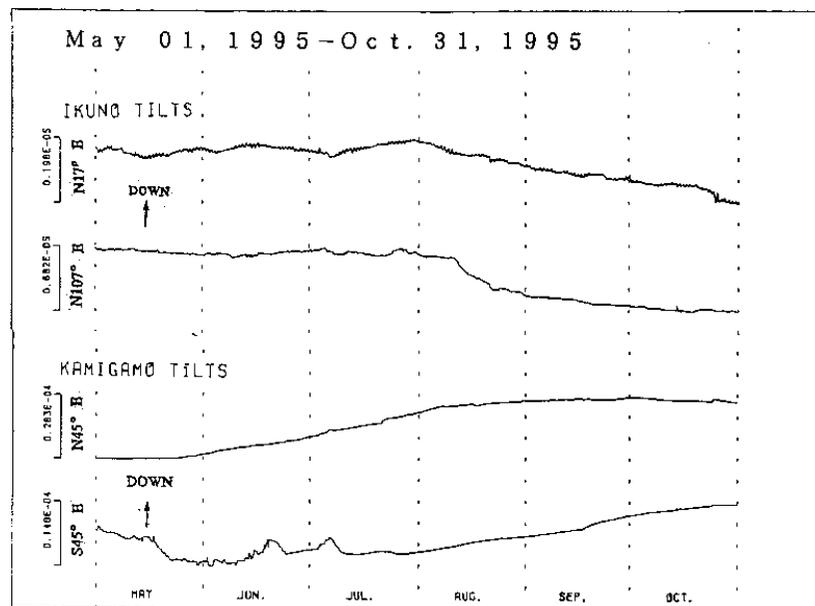
Fig. 2 Strain changes at Donzurubo.



第3図 上宝における傾斜およびひずみ変化

Fig. 3 Tilt and strain changes at Kamitakara.

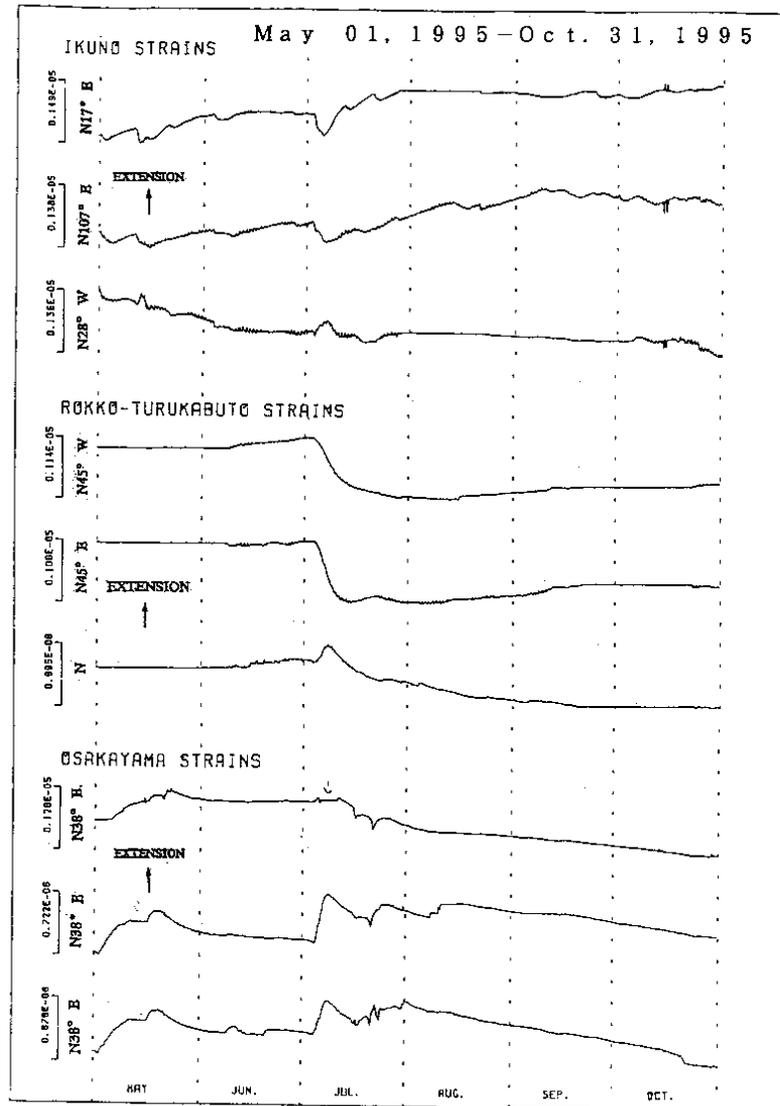
生野・上賀茂における傾斜変化



第4図 生野および上賀茂における傾斜変化

Fig. 4 Tilt changes at Ikuno and Kamigamo.

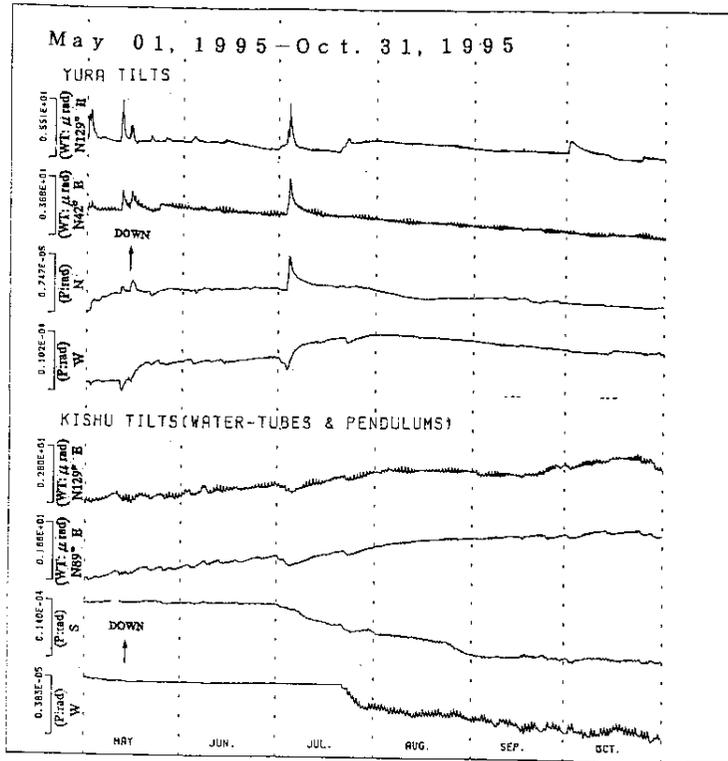
生野・六甲鶴甲・逢坂山におけるひずみ変化



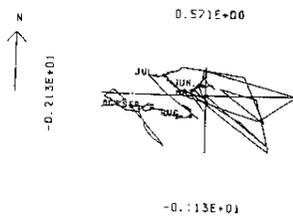
第5図 生野, 六甲鶴甲および逢坂山におけるひずみ変化

Fig. 5 Strain changes at Ikuno, Rokko-Tsurukabuto and Osakayama.

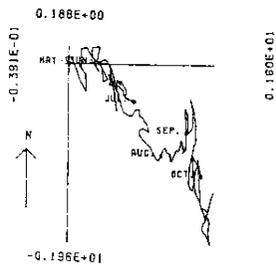
由良・紀州における傾斜変化



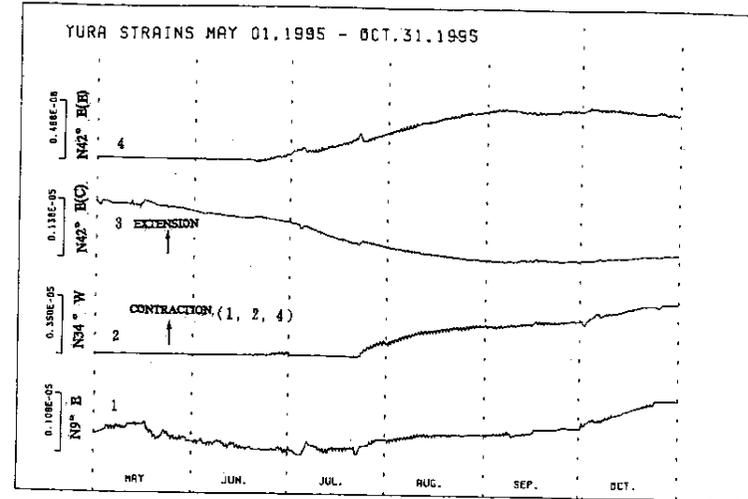
YURA TILT (WATER-TUBES)
MAY 01, 1995 - OCT. 31, 1995



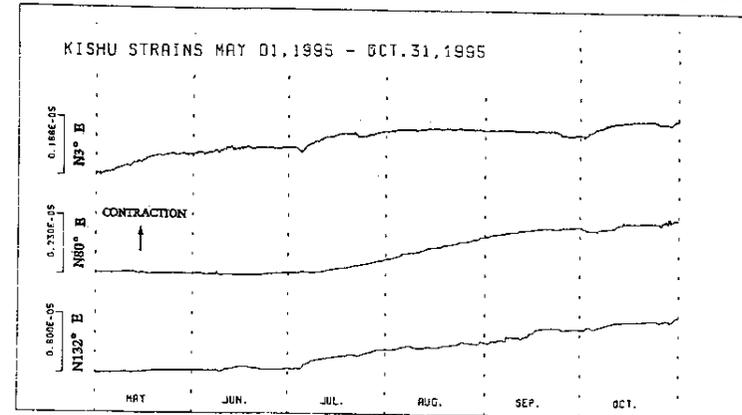
KISHU TILT (WATER-TUBES)
MAY 01, 1995 - OCT. 31, 1995



由良におけるひずみ変化 May 01, 1995-Oct. 31, 1995



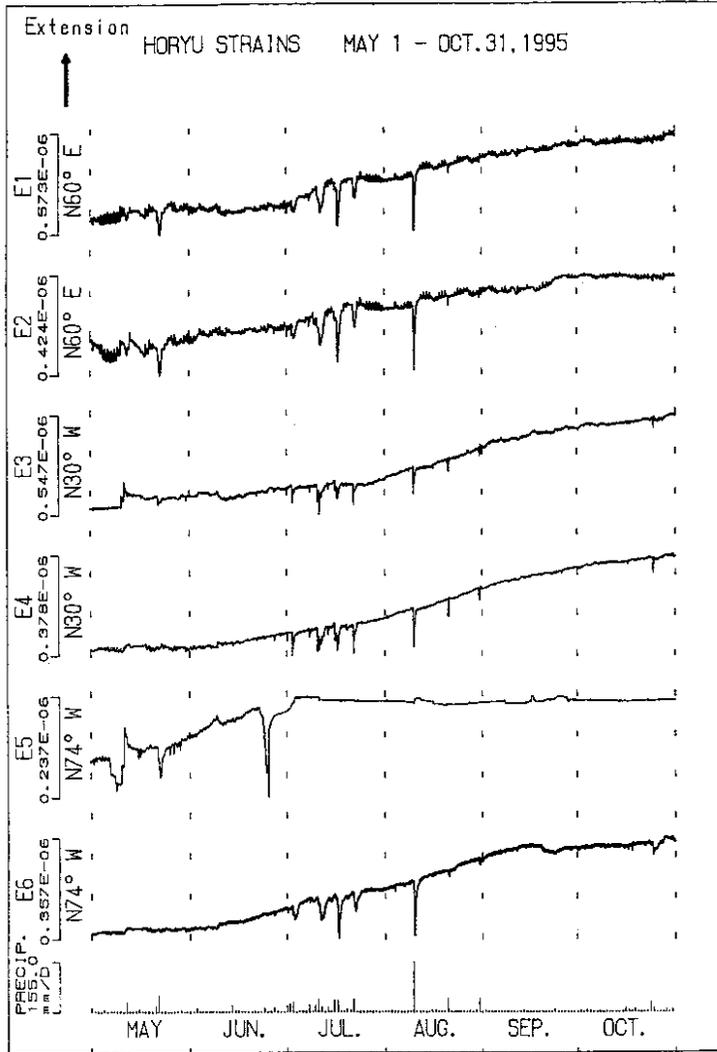
紀州におけるひずみ変化 May 01, 1995-Oct. 31, 1995



第6図 由良, 紀州における傾斜およびひずみ変化

Fig. 6 Tilt and strain changes at Yura and Kishu.

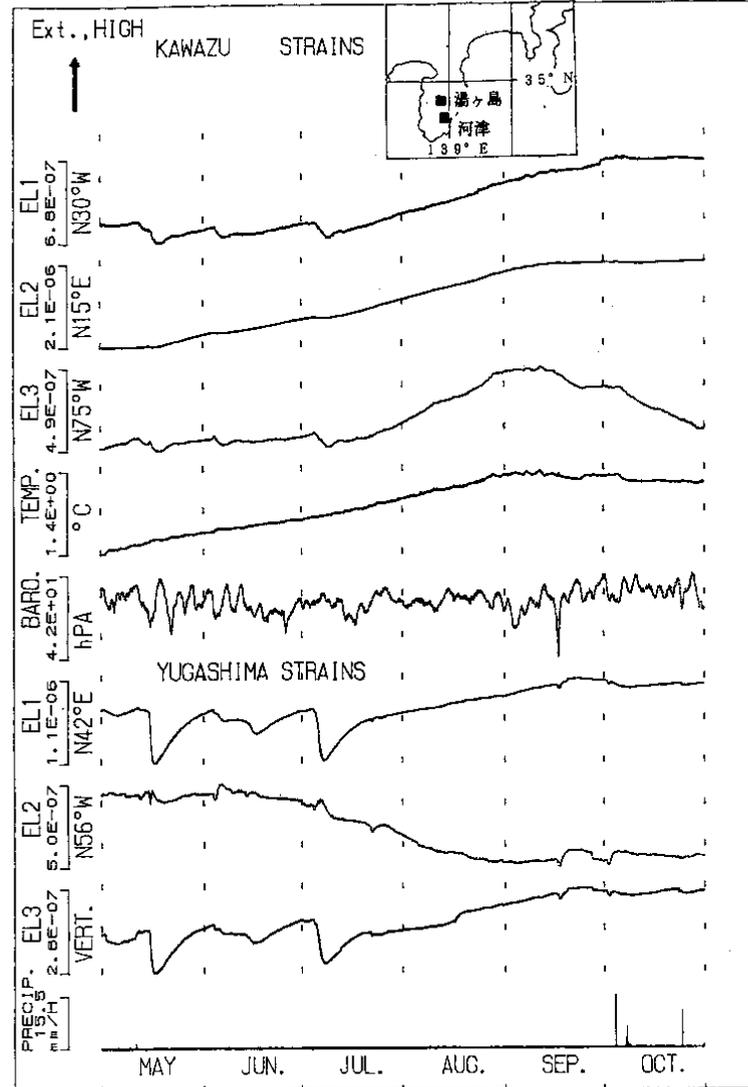
宝立におけるひずみ変化 May 01, 1995-Oct. 31, 1995



第7図 宝立におけるひずみ変化

Fig. 7 Strain changes at Horyu.

河津・湯ヶ島におけるひずみ変化 May 01, 1995-Oct. 31, 1995



第8図 伊豆の河津および湯ヶ島におけるひずみ変化

Fig. 8 Strain changes at Kawazu and Yugashima in the Izu Peninsula.